

(振興局調整費)

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費(円)	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日(部局長会議等)及び評価確定日	事業の効果及び住民の満足度	今後の課題及び取組方向
福祉環境部	豊島優人	健康・予防課	健康・予防班	主幹 小野寺明美	0187-63-3404	地域DOTS推進ステップアップ事業	結核患者の治療完遂率向上、結核のまん延防止及び多剤耐性結核発生を抑制し、感染拡大防止を図るため、患者の服薬指導体制を一層強化する。	591,813	委託	県看護協会との協働により結核患者へ直接訪問し服薬指導を行ったほか、実績を研修会で発表し関係者へ周知した。 ・患者訪問数 延べ388回 ・研修会開催期日 10/27 ・研修会参加者数 38名	県、関係団体	結核患者、医療機関等	平成26年5月9日	死亡や医師の指示による治療中止以外は治療を完了できた。また、飲み間違い、副作用等のあった患者に対しては、早い段階で対応、改善することができた。患者の多くは「支援者が服薬を最後まで見守ることの必要性を」感じていた。	管内が広域にわたることから、複数の服薬支援者が必要である。また、関係者との連携強化が大切であることから、県看護協会と連携した事業を継続する必要がある。
						平成26年5月9日～平成27年3月31日							平成27年10月30日		
総務企画部	貝田理	地域企画課	観光振興班	副主幹 備前俊吾	0187-63-5226	「大曲の花火」県南まるごと観光物産展開催事業	創造花火50年を迎え全国から多数の観光客が見込まれる「大曲の花火」の当日、県南地域合同による観光物産展を開催し、地域の「食・農・観」をまるごとPRする。	309,628	直営	大曲技術専門学校(花火会場へのメイン通路)を会場に県南地域合同で観光物産展を開催した。 ・期日 8/23 ・出展業者数 16社 ・来場者数 7,000人	県	観光客	平成26年5月9日	県南地域全体で開催することで、地域全体の食・農・観を来場者にまるごとPRすることが出来た。また、来場者からも1カ所でも県南の味を楽しむことが出来たと好評であった。	大仙市では、花火当日だけでなく、「花火ウィーク」と称したイベントを展開しており、その主体である商工団体や観光物産協会と連携した事業展開を検討する必要がある。※平成27年度からは振興局主体では無く、地元大仙市観光物産協会が主体となり継続実施する。
						平成26年5月9日～平成27年3月31日							平成27年10月30日		
農林部	工藤哲人	農業振興普及課	担い手・経営班	主幹 瀬田川守	0187-63-6110	「次世代を担う農業後継者」定着支援事業	新規就農者は増加傾向にあるが、確実に定着させていくことが重要になっており、農業研修施設を2ヶ所設置している大仙市と連携し研修生のスムーズな就業を支援する。	139,640	直営	・農業基礎講座(1/15、1/28、2/9、2/12) ・ハウレンソウ実証試験(1/30成果報告) ・営農計画策定支援(9名策定) ・パソコン経営管理講座(2/3,4)	県	新規就農者(大仙市新規就農施設研修生)	平成26年5月9日	大仙市との連携が強化され、研修生の生産技術・経営管理技術が高まり、研修生9名が営農計画に基づいてスムーズに就業できた。	農業を取り巻く環境が厳しくなっており、新規就農者が確実に定着するよう生産技術・販売等のスキルアップを図る必要がある。
						平成26年5月9日～平成27年3月31日							平成27年10月30日		
農林部	工藤哲人	農業振興普及課	担い手・経営班	主幹 瀬田川守	0187-63-6110	がんばろう枝豆日本一を目指して販売促進イベント事業	当地区は枝豆の一大産地であるが、一層の生産・販売強化が求められている。多くの観光客が訪れる「大曲の花火」を好機と捉え、安全性や品質の高さをPRする場を設ける。	60,000	直営	NEXCO東日本の協力を得て「大曲の花火」当日における販売チャンネル確立のため枝豆の直売イベントをモデル的に開催した。 ・期日 8/23 ・場所 秋田道西仙北SA	県	農業法人、観光客	平成26年8月19日	花火鑑賞に訪れる通行客への枝豆PRができた。法人としてイベントでの販売対応のノウハウを得ることができ、今後に生かされると感謝された。	日本一事業の達成に向けたよりいっそうのPRと販促活動
						平成26年8月19日～平成27年3月31日							平成27年10月30日		
総務企画部	貝田理	地域企画課	企画振興班	副主幹 小林一見	0187-63-5114	秋田県市町村未来づくり協働プログラムに関連したモニターツアー事業	美郷町プロジェクトを推進するため、交流人口拡大に向け町に必要とされる課題を浮き彫りにするため、仙台圏住民の意見を聴取する機会を設ける。	623,328	委託	県事業として仙台圏住民を対象としたモニターツアーを催行した。 ・催行回数(7/8、10/29) ・催行人数 79名(39名+40名)	県	仙台圏住民	平成26年4月10日	多くの初訪問者を招くことができ、再訪を希望する感想の他、様々な要望が寄せられ課題が浮き彫りになった。	27年4月に完成する宿泊交流施設の利用を促進する必要がある。また、同施設の活用策を検討する。
						平成26年4月10日～平成27年3月31日							平成27年10月30日		
総務企画部	貝田理	地域企画課	企画振興班	副主幹 小林一見	0187-63-5114	第29回国民文化祭・あきた2014における花のまちづくり推進アピール事業	NAMAHAGEダリアや県産花を組み合わせたウェルカムフラワーを高速道SAに設置し、国文祭をPRする。	108,000	委託	県産花を用いたオリジナルのフラワーアレンジメントの設置・管理を委託により実施した。 ・期間 10/3～9 ・場所 秋田道西仙北SA	県、生花店	観光客	平成26年9月10日	SA利用者等から特に感想は寄せられていない。	国民文化祭に合わせた事業であり、今後の実施予定はない。
						平成26年9月10日～平成27年3月31日							平成27年10月30日		
総務企画部	貝田理	地域企画課	企画振興班	副主幹 小林一見	0187-63-5114	大曲技術専門校の技術を活用した雪対策事業	専門校の技術を活用しスノーダンプの無償修理を行うことにより、地域住民の除排雪への備えに資する。	155,709	直営	振興局が補修に要する資材を提供し専門校が訓練生の実習を兼ねて、地域住民が持ち込んだスノーダンプの補修を行った。 ・期間 10/19～12/12 ・補修台数 120台	県	地域住民	平成26年10月6日	多くの住民から修理の要があり、住民ニーズに沿った事業であった。また、併せて安全な雪下ろしの周知の機会ともなり、日常の雪対策を重層的に展開する一端となった。	専門校のカリキュラムに影響しない実施方法を検討する必要がある。また、全県域での実施が望ましいが、大曲校以外では実施が困難である。
						平成26年10月6日～平成27年3月31日							平成27年10月30日		
総務企画部	貝田理	地域企画課	企画振興班	副主幹 小林一見	0187-63-5114	未来づくり協働プログラムに係る事例調査	大仙市プロジェクトの中で進捗が遅れている、資料館を利活用したソフト事業の展開に資するため先進的な取組を行っている事例を調査する。	79,440	直営	博物館を中心とした「まちあるき」の手法について聞き取りのほか、花火シアターの活用について調査した。 ・期日 3/18～20 ・訪問先 松本市立博物館、アオーレ長岡 等	県	松本市立博物館、長岡市役所	平成27年3月12日	資料館の活用策を検討する上で参考となる事例を調査した。	街の紹介ポイントの発掘に努め、資料館開設までに準備を進める。
						平成27年3月12日～平成27年3月31日							平成27年10月30日		